



あたらき大地



大阪木材工場団地協同組合 *****

1987年 5月号

NO. 20

海外研修旅行で米・加木材市場を視察

組合創立25周年記念事業の一環として、去る4月25日から5月4日までの10日間、参加組合員30社で年令20才の二世から75才の社長まで総勢46名の視察団（団長、中川理事長）を編成して、米国・カナダ木材市場視察のための研修ツアーを行った。

今回のツアーは、一昨年「ウッドリーム大阪」との間で姉妹提携を結んだ米国オレゴン州、ポートランドの「ワールドフォレストリーセンター」



（ワールドフォレストリーセンター前にて）を訪問してお互いの友好交流をはかることと、アメリカ北西部の木材建材業界の現状等を見学視察し、併せて参加組合員とその家族間の親睦を目的として行われたものである。

視察団の一行は、先ず最初の訪問地カナダのバンクーバーを皮切りに大型バス2台に分乗して陸路国境を越えてシアトルへ向い、シアトルでは日本商社のシアトル駐在員（ニチメン、三井物産、王子製紙）と日本木材備蓄機構シアトル事務所の林義男氏を招いて、アメリカにおける木材の産地状況について懇談が行われた。一方同伴で出席された駐在員のご夫人方は、当視察団の夫人14名とこの機会を利用して、アメリカ生活の実情などについて同時に懇談会がもたれた。

シアトルからポーランドに向う途中、タコマで大断面集成材を駆使した世界最大の木造建築物「タコマドーム」を見学、直径530フィート（159m）、高さは15階建ビルに匹敵する140フィート（42m）、収容人員3万人という巨大さにはみな感嘆するばかりであった。とくにヘビーティンバー構造で建てられたこの建物は、鉄筋コンクリートよりも経済的で安く、コンピューターで強度が計算され、耐震・耐風上の問題もないということ

で、大型建築物に木を大担に使っていく米国の考え方に改めて感心させられた。

また、ポートランドまでの途中にあるロングビューでは、ウェアハウザー社の最大の丸太積み出し施設のある専用ヤードとドックそれに製材工場を見学。

ポートランドでは、日本向けランバー輸出でなじみの深いバンポート・マニファクチュアリング社や北部に広がるマウントフードの国有林を見学したあと、今回の主要訪問先である「ワールドフォレストリーセンター」を訪問した。

同センターではJ・ブラックウェル理事長夫妻をはじめ、役員、オレゴン州経済開発局林務局、それにポートランド在住の日本商社の方々など多数の歓迎をうけ、同センターの展示物を見学したあとのレセプションと夕食会では、当木材団地の紹介（スライドによる）



(贈り物をブラックウェル理事長に
手渡す中川理事長)

やコケシ人形の贈呈などを行い、なごやかな懇談のあとフィナーレには、持参したハッピーをまとして「河内音頭」を披露したところ、殆ど全員が踊りの輪に入り、双方の出席者に感動と喜びを与え、一昨年交わした国際姉妹関係を一層強固にするための交流を深めることができた。

ポートランドをあとに空路でサンフランシスコに向いそこでは米国西部地区で最大とされる家具、住宅設備機器などインテリア展示場の「ショープレイス・スクエア」を視察し、そのスケールの大きさに驚かされた。

以上の見学日程を終えてハワイ、ホノルル経由で5月4日午後7時すぎ大阪空港に無事帰着したが、今回のツアーでは多彩な企画が盛りこまれたこともあって、参加者全員に数多くの見聞と知識が広められ、大きな収穫が得られたことは間違いないと考えられる。

因みに今回の参加者全員に対して行ったアンケート調査でも、「大変有意義なツアーであった」という意見が殆どであったことから、それは十分うなずけることができよう。

“木栄会だより”

★ 第4期通常総会を開催

去る4月17日（金）、午後6時15分より、46名の会員の出席のもと、『ウッドリーム大阪』研修室において、第4期木栄会通常総会が行われた。

会則に基づき、61年度事業及び決算報告、62年度事業計画（案）・予算（案）・会費徴収（案）等を審議、それぞれ承認可決され、また当会のより一層の充実をはかるため、会則の一部改正、役員の一部変更も併せて可決された。

総会終了後、「木栄会バンド」・美人コンパニオンをまじえ、盛大に懇親会が行われ、会員同志の親睦と友好をはかり、おわりに「木栄会」の今後ますますの発展を期し、成瀬副理事長の力強い万歳三唱で幕を閉じた。

★ 第8回団地内工場見学会を実施

去る3月4日（水）、第8回団地内工場見学会（参加者22名）が実施された。この見学会は同会情報交流委員会の企画で、今回からは異業種との交流を計り、当団地

内全体の活性化に役立てばと、バンボー工業㈱、三和ニューマルチ㈱、ヤマト消火器㈱の友好企業3か所を約3時間にわたって見学した。

いずれの企業も、最新技術を駆使した新鋭機械を導入しており、参加者一同、「コンピュータ時代」をまさに痛感・再認識させられた見学会であった。

★ 昭和62年度木栄会の年間スケジュールが決定される。

年 月	担当委員会	事 業 内 容
62. 4	3 委員会合同	第4期通常総会
5	情報交流委員会	友好企業見学会
6	研修委員会	組合25周年記念事業に共催
7	情報交流委員会	友好企業見学会
8	3 委員会合同	PL花火大会駐車場
8	親睦委員会	日帰りバスツアー
9	研修委員会	安全運転講習会
10	親睦委員会	焼肉パーティー
10	3 委員会合同	ウッドフェア出店
11	情報交流委員会	未 定
12	親睦委員会	忘年会
12	3 委員会合同	年忘れ紅白歌合戦
63. 1	3 委員会合同	組合新年互礼会に共催
2	研修委員会	未 定
3	情報交流委員会	未 定



『ちょっと一言』

(株)ヤマゲン 井戸淳次



関西に於ける木材情報の拠点としての“ウッドリーム大阪”、今、国会、木材産業界の目玉とも云える大都市圏の準防火地域での木造三階建が万能になる建築基準法改正案を先取りしてのすでに設計段階にある組合の木造三階建の建設計画、また最近の国民生活の向上、余暇の増大とともに根強いウッディライフへの愛着と自然指向、更には工法のオープン化を背景として所謂“ログハウス”の普及は目を見張るものがあります。

私共組合事務所隣りに“やすら木”がオープンしました。このログハウスは、完全防腐処理が施されている所に大きな意義があります。

更に、毎年開催されるウッドフェア等々、地域住民と共に歩むウッドリーム大阪に益々親近感を覚えると共に、中川理事長はじめ役員諸兄、事務局の皆様感謝の念を捧げつゝ『ちょっと一言』欄をおかりして、監事辞任の言葉にかえさせていただきます。

ありがとうございました。

“ウッドリーム大阪”だより



★ 木材知識講習会開催

去る3月27日(金)午後1時30分より標記講習会が開催され、建築関係業を対象に、45名が聴講した。

記

第1部 「三階建て木造住宅の実物火災実験」について

(財)日本住宅・木材技術センター 山田 誠 氏

内容……簡易構造設計基準による建築が可能となった3階建木造住宅の火災実験ビデオを中心に、木造建物の火災について講習された。

第2部 「木材流通の問題点(木材の常識・非常識)」

(株)中川木材店 営業次長 中川博司 氏

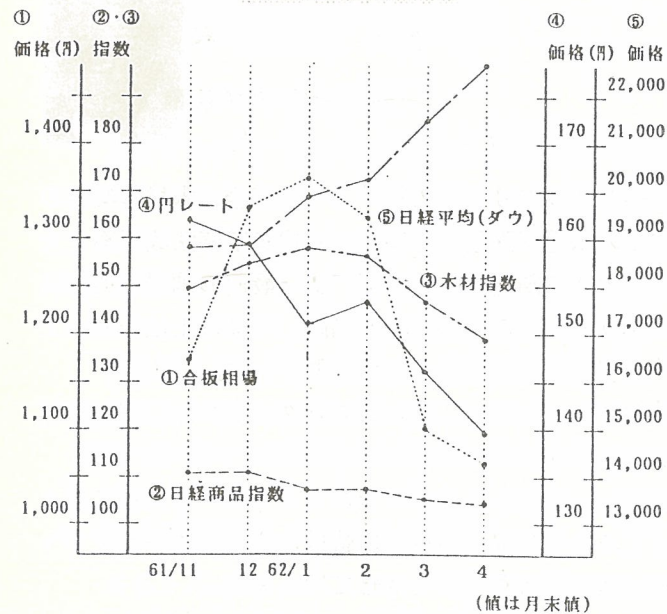
内容……実際に営業にタッチして感じられた木材流通の問題点を ①寸法サイズの嘘、②大阪における市場流通のサイズ、③基準法・JAS上の扱い、④木造住宅1棟分の木材構造材使用量、⑤正寸・並寸との金額の差、の5部門に関する詳細な資料に基づいて行われた講習であった。

★ ウッドリーム大阪の多目的利用について

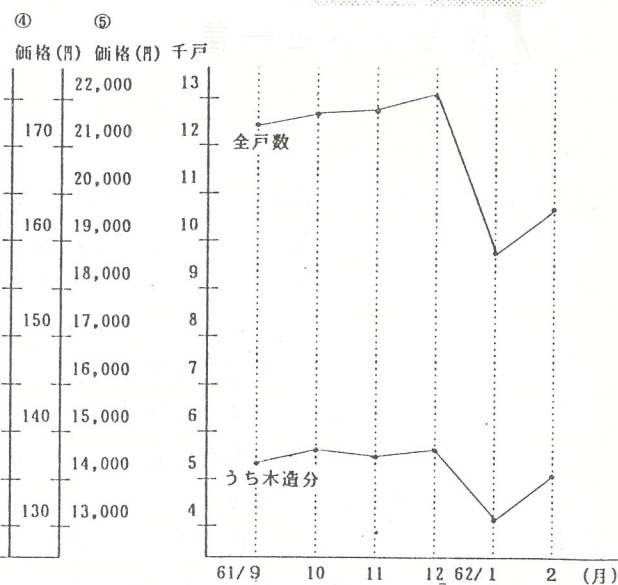
当『ウッドリーム大阪』では、施設の利用促進をはかり、多くの人に木のもつ暖かみ、良さを感じてもらうためにも、この度、施設の利用範囲を幅広く拡大し各種パーティー及び展示会等にも利用が認められることになった。



市況情報



住宅着工戸数



【組合員企業の紹介シリーズ】『うちの会社』

〔その20〕

霜寅銘木株式会社の沿革と経営理念

霜寅銘木株式会社 代表取締役 海堀 正章



当社の創業は大正2年、戦時中の木材統制令に基づき個人商店の強制閉鎖による営業中断もありましたが、三世代70年間の永きにわたりお得意様、仕入先様の御愛顧のお陰をもちまして、木材業一筋に商売を続けさせて頂いております。

当社発祥の地は大阪市東区横堀ですが、その後浪速区幸町に、更に現在は豊中市大黒町に本社機能を置いております。めまぐるしく変わる外部環境や営業形態の変化に対応すべく、当社は時流に逆らわぬ経営方針を取っております。

しかし、その中であっても『大樹深根』という社訓と、顧客第一主義という商売人の鉄則だけは片時も忘れず堅守しております。

蛇足ではありますが、『大樹深根』には木材流通業界にあって、精英樹としてすくすくと成長したい。しかし、焦ることなくどんな風雪にも耐え得る様に、まずしっかりと大地に根を張りめぐらそう。お得意先よりのあらゆる御要望に添うべく努力を重ね、信用という根を深めよう。地域社会に対する奉仕の根、会社の財産である人材の根、資本の根等々を張りめぐらせようという願望がこめられております。

【団地内のうごき】



◎ 団地内の道路工事について

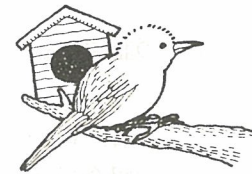
去る4月10日にクボタ精機(株)~(株)伸生スクラップの通り約400mの舗装工事が着工され5月10日に完成しました。

この道路舗装工事は、昭和46年度より毎年進められてきたが、工場団地内は今回でひととおり終了しました。

尚、住宅地に関しては今年度二線の舗装が終り、残り二線を残すだけとなりました。

【日頃の心がまえ】

- (1) 週に一度くらい考えてみよ。
- (2) あいさつで先手をとれ。
- (3) ふりまわされず、取柄を生かせ。



企業を守る損害保険のことなら

(株)大阪木材団地サービスへ

各種火災・自動車・傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町木材通四丁目1番1号

大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670~1

“事務局”だより



★ 組合創立25周年記念式典の開催について

当組合は昭和37年に設立以来、本年をもって満25周年を迎えることになり、この創立25周年の記念と併せて、このたび建設したゲストハウス『やすら木』並びにその周辺緑化の各竣工披露をも兼ねて、下記により祝賀会が開催されます。

記

- (日 時) 昭和62年6月3日(水) 12:00～15:00
(次 第) 1. 創立25周年記念式典 於 ウッドリーム大阪 12:00～13:00
2. 祝賀パーティ 於 木材乾燥工場 13:15～15:00

★ 田中木材産業㈱の(有)田中木材店への変更について

今回、組合員田中木材産業㈱の土地・建物が、(有)田中木材店(代表者 田中繁男氏)へ継承され、今後は(有)田中木材店が組合員となります。



★ 大村紙業の火災について

去る3月13日に団地内友好企業大村紙業の工場延2,000㎡が全焼するという火災がありました。

組合員の皆様も火の取り扱いには十分注意していただくようお願いします。

★ 事務局職員の動き

郵便局の業務を担当していた石原さゆり職員が、去る5月1日付で一身上の都合により退職し、代りに古川幸子職員が採用され、去る5月14日から勤務しています。



【編集後記】

米加木材市場視察の記事の編集の関係で発刊がおくれましたことを心からおわび申し上げます。

去る4月25日から10日間にわたって行われた米加木材市場の視察は、大変実りのある研修旅行でした。参加組合員並びに、そのご夫人方相互の理解と親睦も十分はかられたようです。

また、4月24日には待望のゲストハウス『やすら木』がオープンし、組合員の皆様のやすらぎの場として親しまれております。

“あたらしき大地”も、組合員の皆様に親しまれる情報紙になるよう、より一層内容の充実を計りたいと思います。ご意見・ご感想をどしどしお寄せ下さい。

(“あたらしき大地”編集部)